

あいのその 2025 年 9 月号



「あなたに平和、あなたの家に平和、あなたのものすべてに平和がありますように。」

(ガラテヤの信徒への手紙 6 章 1～10 節)

愛の園保育園 042-325-1045

聖書に登場する「平和」という言葉は、旧約聖書を記したヘブライ語では「シャローム」といい、ます。この言葉は様々なニュアンスを含みますので、「平和」以外にも、いろいろな訳し方ができます。訳者によっては「安心」「無事」「繁栄」「健康」「充足」「知恵」「救い」などなど、様々な訳されます。実はこれらの言葉には、それぞれに正式なヘブライ語があるのですが、シャロームの中にもこういった要素が確かに含まれているということです。

一方、新約聖書を記しているギリシア語で「平和」は「エイレーネ」という言葉です。「エイレーネ」も「シャローム」も「平和」という意味では共通していますが、しかしそこにも、ニュアンスの違いがあります。「エイレーネ」は、争いごとの無い状態による平和を意味します。これに対して「シャローム」は、争いごとがあるかないかに関わりなくそこにある平和を意味します。その根底にあるのは、神が人間と共にいてくださることこそ平和なのだ、ということです。噛み砕いて言えば、悩みや問題ばかりの人生だとしか思えないような毎日だったとしても、そんな私にも神さまは共にいてくださるのだ、だから大丈夫だと信じるならば、そこには平和があるのだ、ということです。そしてそれはまた、逆に言えば、たとえ何の問題も憂いもない人生を享受していると思うとしても、神が私と共にいてくださると感じるのではなく、むしろ、まるで自分が神であるかのように振る舞い、他者を押しのけ自分の主義主張や正義を絶対的にした生き方をしているのであれば、そこには平和はないのだ、ということなのです。そしてこのことは、自分自身のことについてだけではありません。それは他者への思い、祈りの心を表わすものでもあります。あなたに神さまが共にいてくださいますように、神の守りが、導きがありますように、という願いとなるものだからです。

今月の聖句は、のちにイスラエルの王となるダビデが、現王の差し向けた追手からの逃亡中に、ある人に助けを願う際に語った言葉の一節です。自分と部下の身を守るため、助けてくれと頼む際に、何よりもまず、あなたに、あなたの家に、あなたのすべてにシャロームがありますようにと祈ったダビデ。それは助けてほしいゆえのお世辞やおべっかなどではなく、何よりもダビデ自身が、どのようなときも、私には神が共にいてくださる、共に生きて、助けてくださる、と信じていたからです。そしてその幸いを、自分一人が感じ、胸に閉じ込めておくのではなく、あなたにもありますようにと願い、祈っているのです。あなたに平和が、安心が、無事が、繁栄が、健康が、充足が、知恵が、救いがありますように。私たちの生きるこの世界が、問題や争いだらけの現実に思えても、そんな祈りを互いにするとところから本当の平和が実現していくのではないのでしょうか。

(牧師 西脇 正之)



月	火	水	木	金	土
1 礼拝：幼児	2	3 乳児遊び食事 (写真)	4	5 運動あそび (幼児：学年)	6
8	9 内科健診：0歳	10 リトミック：幼児	11	12	13
15 敬老の日	16	17 えいごであそぼう (幼児)	18 幼児運動会 リハ①	19	20
22	23 秋分の日	24 避難訓練 (早朝保育)	25 幼児運動会 総リハ②	26	27 幼児運動会
29	30	31			

★9月27日(土)の幼児運動会は小金井四小の体育館で行います。悪天候(台風)などの場合のみ、次の週10月4日(土)に延期し賀川学園ホールにて幼児クラス別入れ替え制にての運動会を行います。詳細は後日おたよりを配布いたしますので、よろしくお願いいたします。

4日(土) 幼児運動会(予備日)	22日(水) リトミック(幼児)
7日(火) 内科健診(0歳)	24日(金) 5歳児お別れ遠足(写真)
15日(水) えいごであそぼう(幼児)	29日(木) 避難訓練(引き取り訓練)
17日(金) 運動あそび(幼児：学年)	30日(金) 3歳児遠足(写真)
20日(月) 礼拝(幼児)	

※5歳児お別れ遠足(予備日)は3月13日(金)に行います。よろしくお願いいたします。

★幼児運動会・3歳児遠足・5歳児お別れ遠足の詳細は近くなりましたら、おたよりを配布いたします。



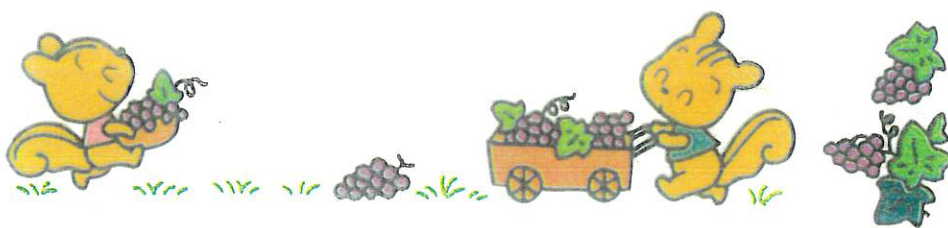
*ちゅうりっぷぐみの柴田深月さんが8月末で退園となりました。お元気で。

*緊急連絡先・住所・勤務先等の変更がある方は、事務所か担任にお知らせください。
また、緊急時・災害時カード、勤務証明書等を必ず訂正か再提出を行ってください。



【登降園時においてお願いしたいこと】

- ①玄関ドアや門から外へ出るときは保護者より先にお子さんを出さないようにお願いいたします。自転車や車の往来もあり危険です。必ずお子さんと手をつないで歩いてお帰りください。
- ②車（タクシーを含む）で登降園される保護者の方は、園舎横付けや道路で乗り降りをするとはできません。仮駐車場で乗り降りをお願いいたします。
- ③保育園から駐車場、また駐車場から保育園に向かう際、子どもだけでは大変危険です。お子さんと手をつなぎ、責任をもって安全確保に努めてください。



つぼみぐみ

『暑い日々は部屋で楽しく』

沐浴が始まって約3ヶ月が経ちました。つぼみ組の子たちはみんな沐浴が大好きです。友だちがちゃぷちゃぷしていると覗きにくる子もいます。自分の番が回ってくると、服を脱いでいる時から“はやくはいりたい！”と言っているかのように足をバタバタしていたりします。そして、水面をバシャバシャと叩き、顔に水がかかると目をぎゅっとつむる姿が見られますが、表情はにっこにこで遊んでいます。沐浴によって、登園中にかいた汗を流しさっぱりして気持ちよく過ごすことができます。

お部屋には空になったクリームの容器があります。それを引っ張って開けようとしている子、開けられずポイっとする子、開けてほしそうに大人に渡す子、手首を手前に捻って奥に捻ってと開けては閉めてを繰り返している子、容器の中に物をいれ見立て遊びをする子などがいます。同じクリームの容器でも、その子の興味や関心・発達によって様々な姿が見られ、このような場面からも遊び方の広がりを日々感じています。

6月から気温が高くなり散歩に行くことがなかなか厳しい日々です。今年の暑さは10月頃まで続くと言われてしています。気候に合わせて引き続き沐浴を行い、子どもたちが気持ちよく、そして楽しく過ごせるような遊びを考えていきたいと思います。





たんぽぽ

<夏を越えて！>

今年も暑い日が続きましたが、体調に支障がなく可能な日には水遊びを楽しみました。水遊びが初めての子もいましたが、少しずつ慣れて笑顔が増えていきました。カップやひしゃくで水をすくったり、じょうろで水を流してみたり、コップに花ブロックを浮かべて眺めたり。また、噴水のように水が出るマットを出した時には自分から水にかかりにいったびしょびしょになってみたりと、それぞれが自分なりの工夫で水を感じ、皆、全力で水遊びを楽しんでいました。暑い夏を越えて、みんな心も体もひとまわり大きくなったように感じます。まだまだ暑い日が続いていますが、少しずつ陽が短くなり、秋が近いことを感じるようになってきました。9月は季節の変わり目。

体調管理に気を付けながら、散歩などにも積極的にでかけて、

秋ならではの遊びを楽しんでいきたいと思っています。



ちゅうりっぷぐみ



〈思いつきり遊んだ水遊び〉

暑い日には水遊びを心待ちにしていた子ども達。「今日は水遊びできそうだよ」と伝えたと「やったー！」といって早々とお片付けをし、小園庭へ行くと大喜びでジョーロや水鉄砲を手にとってそれぞれが好きな遊びで楽しみました。

布団の圧縮袋にお水を入れたウォーターマットの上を踏んでみたり、横になって足をバタバタさせていたりダイナミックに体を動かす子、ホースを繋げて噴水のように水が出てくるマットでは、噴水の水が落ちてくる下に座って頭から水をかけて全身で心地よさをあじわう子、氷を手で「つめたーい」「きもちいね」と言葉で表現する姿やバケツに入れてグルグルかき回し、溶けていく様をじっと見つめて不思議さに気付く姿もありました。感覚遊びを通した「観察」や「表現」の経験が自然に成長につながっているように感じます。遊んだ後は、「すっきりしたね！」と満足げな表情。水や氷に触れて心地よさを感じ、夏ならではの遊びを満喫することが出来ました。

9月もまだ暑い日も続くかもしれませんが、涼しい日には秋を探しにお散歩に出かけ、子ども達の成長を見守っていきたいと思います。

(記)

そらぐみ



<水遊びがたくさんできました…>

園庭に遮光ネットが取り付けられたことにより、暑さがやわらぎ、昨年と比べて水遊びを多く楽しむことができました。「明日、水遊びをします」と伝えると子ども達もとっても嬉しそうに「やったー！！」「楽しみ！」と笑顔いっぱいの様子。前日から「タオルあったかな…」と持ち物の心配をしたり、当日も自分で持ち物等の準備を進める姿が見られました。

最初は水を飛ばすのも一苦労だった水鉄砲、月さんに扱い方を伝えると気持ちよく水が飛んでいきます。その様子を見て真似することで、星さんも花さんも上手に扱うことができるようになってきました。また、「的に当てよう！」等遊びの中でルールや役割を決め友達と力を合わせて思いきり遊ぶこと子たち。水を料理に見立てたり、水をじょうろで流して「おそうじ！」したりと想像力をふくらませてやりとりを楽しむ子たち…幼児クラスならではの遊びの広がりを感じました。

9月は運動会に向けてかけっこやリレー、リズム遊び、パラバルーン等を友達と一緒に身体を動かす楽しさを味わいながら取り組んで行きます。子ども達の意欲や成長を保護者の皆様に感じていただけるように進めていきたいと思っています。 ()



食事だより 9 月

夏の強い日差しも少しずつ和らぎ虫の鳴き声もセミから鈴虫に変わる今日この頃、だんだんと秋が近づいてきました。秋はたくさんの食材が旬を迎えます。栄養たっぷりの食事食べて食欲の秋を楽しみましょう！幼児クラスさんは今月、運動会が開催されます。調理室からも応援しています☆彡

【9月1日は防災の日】

◆水分！次に食事！～食べることが大切な命を守ります～

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておく安心です。また、防災のために特別なものを用意するだけでなくできるだけ普段の生活の中で利用されている慣れた食品を備えておく子どもの食事でも安心ですね。防災時子どもたちのストレスを少しでも緩和できるように好きなお菓子を入れておくこともおすすめです。

防災の日献立では保育園でも備えている防災食を使用し食事を提供します。また、乾物や調味料はローリングストックとしても日々の食事で活用させています。



【クッキング活動の様子】

7月18日/お楽しみ保育(つきさん)

つきさんのお楽しみ保育ではカレーライスづくりを行いました。

各グループで野菜の皮むき、切る作業を協力して進めていました。自分たちで作ったカレーは格別だったようです！ご飯もたくさん食べて楽しい夏の経験になったと思います。





ほけんだより



2025年 9月



日中の日差しは強くても、陽は日々短くなり、吹く風も秋を感じさせるようになってきましたね。これからの季節は少し涼しく過ごしやすい気候に入りますが、夏の疲れも出てくる頃です。全身のけだるさや食欲不振・便秘や下痢・発熱等体調の乱れが現れて来ます。乳児は機嫌の良し悪しにも注意して、十分な休息・栄養に配慮し、生活リズムと体調を整えてあげましょう。

生活リズムと健康

早寝・早起きは健康の基本



生活リズムが整っている時は、自律神経が安定し、疲労もとれて病気にかかりにくいものです。子どもは大人に比べて身体の調整をする自律神経が不安定なので、生活リズムが乱れると、身体症状等に色々な影響が出てきます。

寝る子は育つ



子どもにとって大切な成長ホルモンは、22時～2時の間に1日分の分泌量の大部分が分泌されます。眠りに入って1～2時間頃が分泌のピークになります。遅くとも夜9時までには寝るようにしましょう。

生活リズムの乱れは、保育園での生活にも影響し、遊ぶ時に疲れが出て遊べなくなってしまうます。子どもが健康で生き生きと生活するために生活リズムはとても大切です。

9月9日は救急の日！



突然起こる、怪我や事故にそなえて、救急箱の中身を点検しておきましょう。

簡単な応急手当



すり傷・切り傷

- ① 洗う・・・水道水で傷口の砂や汚れを洗い流します。
- ② 止血・・・清潔なガーゼなどで傷口を押さえます。
- ③ 保護・・・絆創膏などで傷口を保護します。



つき指・ねんざ



- ① 冷やす・・・保冷剤をハンカチ等で巻き20～30分間冷やします。
- ② 安静・・・怪我をしたところを動かさないようにします。
- ③ 受診・・・なるべく早く専門医を受診します。



こんな時は病院へ



- ① 動物などにかまれたとき。
- ② 傷口の汚れがひどく、洗っても取れないとき。
- ③ 止血をしても血が止まらないとき。
- ④ 傷口の周りが赤く腫れてズキズキ痛むとき。



発熱したとき



観察のポイント

- ① 熱以外の症状がないか観察しましょう。
(咳・鼻水・耳の痛み・嘔吐・下痢・発疹)
- ② 熱の変化を記録しましょう。
→ 何時に何度熱があったか。
→ 一日の熱の変動を記録しましょう。
(診察を受けるときの大切な情報です)

ホームケアのポイント

- ① 熱が出る時寒気を感じることがあります。
→ 熱があり手足が冷たい時は温かくしましょう。(保温)
→ 熱があり手足が温かい時は薄着にしましょう。
→ 気持ちよさそうなら冷やしましょう。
→ 高熱の時は嫌がらなければ冷やしてあげましょう。
(首の付け根・脇の下・足の付け根)
- ② 水分をこまめに飲ませましょう。
(麦茶・湯冷ましなど)



吐き気がない場合は飲みたがるだけあげましょう。

- ③ 汗をかいたら、お湯で絞ったタオルで体を拭き着替えましょう。



子どもの事故を防ぎましょう！

子どもは大人が目を見失った一瞬の間に、誤飲・転倒・転落・溺水・窒息等の事故が起こります。安全な環境と子どもの監視に心がけましょう。

7・8月の感染症



アデノウイルス感染症	4名
溶連菌感染症	12名
突発性発疹症	1名
コロナウイルス感染症	2名
RSウイルス感染症	2名
ヘルパンギーナ	3名
手足口病	1名



文責)